

本誌では、普天間飛行場跡地利用に係る最新情報をお伝えします

普天間飛行場跡地利用ニュース 17号

平成 24 年 3 月 宜野湾市基地政策部基地跡地対策課発行

跡地利用に向けた「市民懇談会」を開催しました



宜野湾市では、平成 24 年 2 月 26 日（日）、宜野湾市農協会館 2 階ホールにおいて、市民の皆さんを対象に普天間飛行場の跡地利用に向けた「市民懇談会」を開催しました。

本誌では、懇談会の概要や市民の皆様から頂いたご意見等をご紹介しますので、ぜひご覧下さい。

(左写真) 懇談会のようす

「全体計画の中間とりまとめ（案）」や学生の考える跡地利用について意見交換を行いました

懇談会では、今までの跡地利用に関わる取組経緯を説明した後に、県・市で作成した「全体計画の中間とりまとめ（案）」の紹介、市民のまちづくり検討組織である「ねたてのまちベースミーティング」の活動紹介、琉球大学学生の考える跡地利用の紹介を行い、市民の皆様と意見交換を行いました。



① 「全体計画の中間とりまとめ（案）」について

「全体計画の中間とりまとめ（案）」てなに？

「全体計画の中間とりまとめ（案）」は、宜野湾市と沖縄県が共同で、跡地の土地利用構想として取りまとめを行っているものです。

跡地の具体的な姿（まちづくり構想比較案）が描かれています

案の中では、跡地のまちづくりの具体的な姿がわかる「たたき台」として、「まちづくり構想比較案」が作成されています。具体的には、(仮)普天間公園の形状に着目し、「一箇所にまとめて配置する案」（集約配置型）と「ま



とまりある区域と帯状公園によるネットワークを形成する案」（ネットワーク形成型）を踏まえ、3種類の土地利用ゾーンと(仮)普天間公園の配置パターンを作成しております。また、新たに関連調査の検討ルートから「公共交通軸」を追加しております。



②「わたでのまちベースミーティング」が活動紹介

懇談会では、市民のまちづくり検討組織である「わたのまちベースミーティング（以下NBミーティング）」が活動紹介を行いました。紹介では、これまでの活動内容等を踏まえ、普天間飛行場の跡地利用を“宜野湾市のまちづくり”として考えていく重要性を投げかけ、市民に参加を呼びかけました。



③琉球大学学生が「私たちの考える跡地利用」を発表

今年度、「NBミーティング」が連携して取り組みを行っている琉球大学の学生が、「公園」と「環境共生住宅」をテーマに授業の中で検討を行ってきた成果として、「学生の考える普天間飛行場の跡地利用」を発表しました。

(左上写真)「NBミーティング」の活動紹介のようす
(左下写真)琉球大学学生の発表のようす

懇談会で頂いた「全体計画の中間取りまとめ（案）」や学生案に対するご意見を一部紹介します

①「全体計画の中間取りまとめ（案）」に対するご意見（一部紹介）

- 100ha の公園は返還に大きな意味を持つ。公園は人が集まることにより価値が出てくると思う。経済効果に繋がるものが必要だと思うが、今の案ではそうならない気がする。
- 公園にどういう機能を持たせるかが大事だと思う。
- 学校や市役所等については、跡地利用に伴い野嵩から移転しても良いと思う。将来住宅地（居住ゾーン）ができるとなれば、中心に学校が必要となる。
⇒市役所等は跡地中央の「都市拠点ゾーン」に集中させる考えを持っている。また、「居住ゾーン」の中に学校を持ってくるかについては、今後検討していきたいと思う。
- 広域交通網体系をしっかりと整備していかないと混雑するかもしれない。

②「琉球大学学生の考える跡地利用」に対するご意見（一部紹介）

- 琉大生の住宅（環境共生住宅）の考えは面白いと思った。隣近所との繋がりがもっと増えると楽しい住宅になると思う。
- 住宅の垣根をなくすようなレイアウトなどを検討されても良いのではないかと思う。
- 軍事基地から平和発信の基地へということで、国連平和大学を誘致してはどうかと考えている。ジュネーブが国際都市になったように、おのずと会議等が開かれ経済効果も出てくる。学生さんの考える公園も良いと思うし、今後そういったことも提案の中に入れて研究してほしいと思う。

普天間飛行場跡地利用に関わる情報は、ホームページや情報提供窓口でも提供しています。情報収集や跡地利用に関わる要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用下さい。

≪ホームページ≫ <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/>
 ≪情報提供窓口≫ 宜野湾市役所 基地政策部 基地跡地対策課
 電話 098-893-4401（直通） FAX 098-892-7022
 Eメール kichi01@city.ginowan.okinawa.jp

